



「うどん県」の県産品を EU へ

香川県交流推進部県産品振興課

香川県の「直島」は、アートの島として有名で、欧州諸国からの観光客に人気のスポットですが、2010年に初めて開催した「瀬戸内国際芸術祭」（以降3年ごとに開催）を契機に、香川県に滞在する観光客も大幅に増加し、「讃岐うどん」や「日本酒」などの食に触れる機会も増えています。

これらを契機とし、フランスにおいて香川県産品の認知度を高めるとともに販路開拓を試みるため、クレアパリ事務所の協力を得ながら事業を進めました。

日仏文化交流イベント 「うどん県」への出展

- (1) 期間：2017年9月9日・10日
- (2) 場所：フランス・ウドン市
- (3) 来場者数：約2,000人
- (4) 実施内容：香川県産加工食品（讃岐うどん（乾麺）、醤油）の販売、香川県の地酒の試飲、うどん職人による麺打ち体験、香川県の観光と四国遍路の紹介

日仏文化交流イベント「うどん県」は、2016年にJALパックパリ支店の誘客施策「VISIT JAPAN & VISIT France フランスへ行こう」の一環として、フランス西部のOUDON市（フランス語での発音はウドン）にある中世の古城ウドン城で、日本のうどんの紹介イベントとして企画されました。JALパックパリ支店では、「うどん県」として観光プロモーションを行う香川県との連携を望んでおり、同年6月、香川県職員がパリでの地酒のPRのために渡仏していた際に、クレアパリ事務所を通じて企画を持ち掛け、同年9月10日・11日の2日間、ウドン城で初めてのイベント開催が実現しました。

準備期間が短かったこともあり、香川県では県産品の販売のみでしたが、商品はほぼ完売し、大変好評でした。このため、2017年も、JALパックパリ支店主催で、再び「うどん県2017」が開催され、香川県も参加しました。今回は、香川県のうどん職人が渡仏し、うどん打ち体験教室を実施したところ、参加者からは非常に喜ばれ、地元紙でも大きく取り扱われたほか、クレアパリ事務所には広報面で支援を受けることができました。



ウドン市長（左端）らもうどん打ちを体験

「香川県」や「讃岐うどん」の認知度はまだまだ低いですが、イベントではフランスの方が茶道の講習会を行っていたほか、日本のマンガをきっかけに、日本に興味を持ち来場した方もおり、日本文化がフランスでも地方へと広まっていることを感じました。また、販売した県産品や日本酒が好評であったこと、四国遍路に興味を示す方が大変多かったことから、県産品の販路開拓やフランスからの観光客誘客への潜在的なニーズについて、手ごたえを感じました。

「在フランス日本国大使公邸 天皇誕生日レセプション」への出展

- (1) 期間：2017年11月6日
- (2) 場所：在フランス日本国大使公邸
- (3) 招待者数：約600人
- (4) 実施内容：うどん職人による手打ちうどんの提供

在フランス日本国大使公邸において、県産品PRの場につながる「天皇誕生日レセプション」出展者を募集しているとの情報をクリアから得て、EUへの輸出を模索している「讃岐うどん」を招待者のフランス人に食してもらうことで、直接、風味や食感などの感想を聞き取れることから、うどん職人を現地に派遣し手打ちうどんを招待者に提供することとしました。

出展にあたっては、クリアパリ事務所から多くの支援を受けることができ、中でも香川県庁に4年間在籍した羽白所長からはきめ細かな助言をいただきながら、準備を進めました。

レセプションでは、提供し始めてから30分で400食が食され、閉会前には用意した600食のすべてが完食されました。「讃岐うどん」の特徴であるいりこ風味のだしやこしのある麺が受け入れられたと思います。

「讃岐うどん」がEUにおいても受け入れられる可能性があるとの手応えを感じましたので、今後、販路開拓を検討していきたいと思います。



香川県ブースの賑わい

今後の展開

「讃岐うどん」のほかにも、日本酒の酒造会社が「サロン・ド・サケ」や日本酒専門店「LA MAISON DU SAKE」において開催された試飲会に出展し好感触を得ています。

今後とも、クリアから情報提供や助言を受けながら、EUでの商談会や展示会等に効果的に出展し、「讃岐うどん」や「日本酒」をはじめとする県産品の販路開拓に取り組んでいきたいと考えています。



木寺大使のフランス語による「讃岐うどん」の紹介